

ミヤコシ

リョービと共同開発 - 世界最速 B2 枚葉デジ印刷機 -

デジタル印刷機の開発で注目を集めるミヤコシ(千葉県習志野市、☎047-493-3854)は、パッケージ印刷もターゲットにした B2 サイズで、枚葉デジタル印刷機では世界最速の毎時 8000 枚を実現したデジタル印刷機を小型オフセット印刷機器で世界的なリーダー企業であるリョービ(広島県府中市、☎0847-41-1111)と共同開発した。

近年、小ロット、短納期、バリエーションデータに対応したデジタル印刷技術が注目を集めており、さまざまなデジタル印刷機が発売されている。一方、既存のオフセット印刷は大ロットに強く、高品質、低いランニングコスト、高速印刷という点では、先行技術であるオフセット印刷に優位性があるため、両者のメリットを兼ね備えた、新しい方式の印刷機が求められていた。

こうしたニーズに応えるため、ミヤコシが 4 年前に輪転タイプのデジタル印刷機で開発した 1200dpi の高解像度と超微粒子液体トナー電子写真技術に、リョービがオフセット枚葉印刷機で培った高速用紙搬送技術を融合することで、B2 判用紙を毎時 8000 枚高速印刷できる枚葉デジタル印刷機を具現化することができた。

デジタル印刷機分野では高品質の印刷ができるインクジェットプリンター(IJP)も登場しているが、今回開発のデジタル印刷機は、超微粒子の液体トナーを感光ドラムから用紙へオフセット転写させることから、IJP 方式では難しい繊細な印刷表現も、よりオフセット印刷に近い品質で再現することができる。また、紙が本来持つ光沢を損なうことなく印刷できるほか、折り加工時の割れの問題も軽減できるというメリットがある。

この B2 判液体トナー方式デジタル印刷機の用途としては、小ロットの紙箱や化粧箱、紙器といったパッケージ印刷のほか、カタログやポスター、さらには高品質な大判のバリエーション印刷もターゲットとしている。

同機は 5 月 3～16 日までドイツ・デュッセルドルフで開催される世界最大規模の国際印刷機材展「drupa2012」に参考出品モデルとして、ミヤコシのブースで初公開、その反応を見極め、発売に向けての準備を進める。販売は両社で行なうが、その際も両社はそれぞれのブランド名、商品名をつけて販売していく。

(2012 年 04 月 09 日 包装タイムス 掲載)